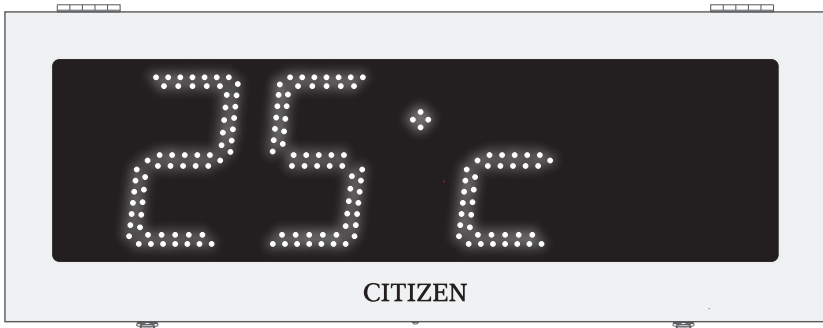
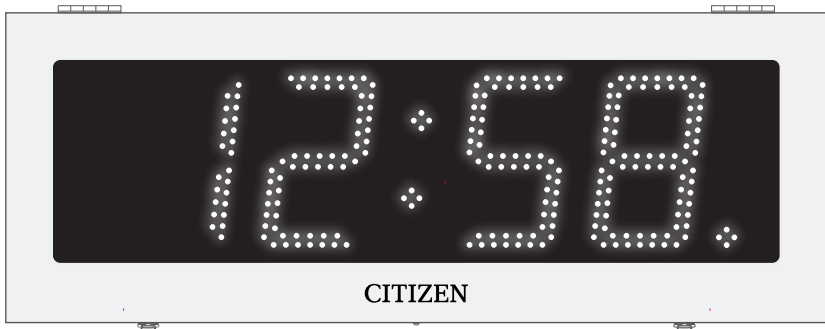


CITIZEN

シチズン LEDデジタル時計

LDW-20B1



取扱説明書

[第1版]

シチズンTIC株式会社

■はじめに

このたびは、シチズン白色 LED 式デジタル時計をお買い上げ頂きましてありがとうございます。この取扱説明書は白色 LED 式デジタル時計の機能、操作方法、取扱上の注意などについて説明したものです。

よくお読みいただき、機能を十分活用してお使いください。

■本製品の特長

時刻表示のセグメントに白色 LED(発光ダイオード)を使用し、低消費電力、高寿命、高視認性を持ったデジタル時計です。

1. 温度表示

温度センサーを接続し時計と温度を交互に表示することが可能です。

2. 時制の選択

表示時刻は 12 時間表示 / 24 時間表示を選択できます。

3. 単独式 / GPS 補正式 / 親時計同期式

内部時計を表示する**単独式**、GPS アンテナを接続し時刻補正する**GPS 補正式**または、外部親時計の DC24V30 秒有極信号・シリアル信号で動作させる**親時計同期式**を選択できます。

4. コロン / ドット点滅の選択

毎秒コロンを点滅させるかドットを点滅させるか選択できます。

5. 表示セグメントの明るさ調整

内部基板のスイッチ操作で 2 段階の明るさに調整することができます。

また照度センサーを搭載しており、周囲の明るさに応じて表示の明るさを自動調整できます。

■付属品のご確認

本体	1
アイボルト (設置作業にご使用ください)	2
取扱説明書 (本書)	1

GPS アンテナ、GPS 本体ケース取付板、温度センサー、時刻修正プレートは本製品には付属しておりません。
(オプション品)

- 本書の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は実際と一部異なることがあります。

■ もくじ

はじめに	1
付属品のご確認	1
もくじ	2
本装置または機器の注意事項	4
安全上の注意事項	5
工事業者様への機器結線上の注意事項	7
各部の名称とはたらき	9
各スイッチの説明	10
スイッチの位置と名称	10
時刻合わせスイッチ	11
文字明るさ切換スイッチ	11
時刻動作モード設定スイッチ	12
字型の切換え	12
GPS・温度表示設定スイッチ	13
GPSステータス表示	14
設置について	15
本体の設置	15
GPSアンテナ(オプション品)の設置	16
GPSアンテナ設置場所の選定	16
受信に適さない場所	16
GPSアンテナ(オプション品)の設置方向	17
GPSアンテナケーブル配線上の注意	17
GPSアンテナの固定方法	17
GPSアンテナケーブルの延長	17
GPS取付金具(オプション品)を使った本体への取り付け	18

■ もくじ

機器の結線	19
電源・信号線の接続	19
電源端子への取付方法	20
適用電線	21
単線の場合	21
より線の場合	22
機器の結線	23
信号端子の接続	23
GPSアンテナの接続	24
温度センサーの接続	25
バックアップ電池	26
バックアップ電池の交換	26
時刻合わせ	27
本体での時刻合わせ	27
時刻修正プレート(オプション品)を使った時刻合わせ	28
単独式でご使用の場合	29
親時計同期式でご使用の場合	30
GPS補正式でご使用の場合	31
製品仕様	33
お問い合わせ	34

■ 本装置または機器の注意事項

■ 本装置を正しく安全にご使用いただくため、使用前に必ずこの「本装置または機器の注意事項」をよくお読みの上、十分理解してからご使用ください。



分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けもしないでください。火災、ケガ、感電、故障および誤動作の原因となることがあります。



機器の設置に際し、電気工事および本説明書の「工事業者様への設置上の注意事項」「工事業者様への機器結線上の注意事項」と書かれた箇所の作業は絶対に行わないで下さい。必ず、工事業者もしくは弊社技術者に依頼して下さい。火災、感電、ケガ、故障、機器落下の原因となります。



機器は確実に取付け、振動や衝撃のある場所には設置しないでください。落下、故障の原因になります。



入力電源について、指定電圧以外は使用しないで下さい。指定電圧以外の電源を使用すると火災、感電、ケガ、故障の原因となります。



引火する危険性の雰囲気（ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、粉塵等）又、酸などの腐食性雰囲気のところに設置しないでください。

■安全上の注意事項

- この取扱説明書に記載されている製品を正しくお使いいただき、人体への危害や建造物への損傷を未然に防止するために下記事項を必ずお守りください。
- 使用前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、十分理解してから正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しておりますので、必ずお守りください。
- ご使用後もこの取扱説明書は大切に保管してください。



危険

製品の取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い内容です。



警告

製品の取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負うことが想定される内容です。



注意

物理的損害の発生が想定される内容です

※上記に述べる重傷とは、失明・けが・やけど・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るもの、ならびに治療のため入院や長期通院を要するものをいいます。

軽傷とは、重傷に該当しない怪我・やけど・感電などをいいます。

物的損傷とは、建造物に関わる損害をいいます。

- 次の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。



禁止

禁止を示す記号です。



指示

指示に基づくことに対して必ず実行していただくことを示す記号です。

■安全上の注意事項



警告



禁止

濡れた手で操作をしないで下さい。感電・漏電または故障の原因となることがあります。



禁止

機器は一般の方など、本製品の設定・操作の知識がない方には操作をさせないで下さい。



禁止

工具を使用しなければ開けられない機器の扉やパネルについては、開けないようにして下さい。火災、感電、ケガ、故障の原因となります。



指示

保守メンテナンスはお客様が行わずに、工事業者もしくは弊社技術者に依頼して下さい。お客様が行うと火災、感電、ケガ、故障、機器落下の原因となります。



指示

使用中に煙が出たり、その他の異常が認められた時は、すぐに機器の元電源を切して下さい。その後、弊社技術者に修理依頼して下さい。



禁止

電池の交換作業は行わないで下さい。
交換作業は工事業者もしくは弊社技術者に依頼して下さい。



注意



禁止

機器の接続線をむやみに強く引っ張らないで下さい。コネクタが破損したり、表示、操作ができなくなります。



禁止

ベンジン、シンナーなどの溶剤で機器を拭かないで下さい。本体外装部が変質したり、塗装が落ちる恐れがあります。



指示

機器の操作知識のない方が操作する場合には、内容を理解している方が指導したのちに操作するようにしてください。けがなどの原因となることがあります。

■ 工事業者様への機器結線上の注意事項



危険



指示

機器設置は、指示した工事をするにあたり必要な有資格者が行って下さい。
機器落下等によるケガ、故障の原因となります。



指示

重量物ですので、設置の際は安全に作業できる人員で行って下さい。
機器落下等によるケガ、故障の原因となります。



指示

機器の設置は、構造物が機器の重さに十分耐えられる事を確認の上で行って下さい。
強度が弱い場所に設置した場合、機器落下等によるケガ、故障の原因となります。



指示

機器設置のボルト、ナット等の固定器具は、指示されたものを使用して下さい。また設置作業は確実に行って下さい。機器が落下して、人身および物損事故になる事があります。



指示

機器の電源、信号等の結線工事は必ず電気工事士または弊社技術者が行って下さい。



指示

機器のアース端子には必ずアース線を結線して下さい。
なお、接地は D 種接地工事を行って下さい。故障や漏電の際に感電する事があります。



禁止

分解、改造をしないで下さい。火災、感電、ケガ、故障の原因となります。

■ 工事業者様への機器結線上の注意事項



多湿、水のかかる所へは設置しないで下さい。
火災、感電、漏電または故障の原因となります。



濡れた手で機器設置作業をしないで下さい。
手が滑り、機器落下や破損の原因となります。



端子台等に結線する時は、電源が供給されていない事を確認の上で行って下さい。
感電する事があります。



電池の交換作業は、電源が供給されていない事を確認の上で行って下さい。感電する事があります。



機器に水をかけないで下さい。火災、感電、漏電、故障の原因となります。



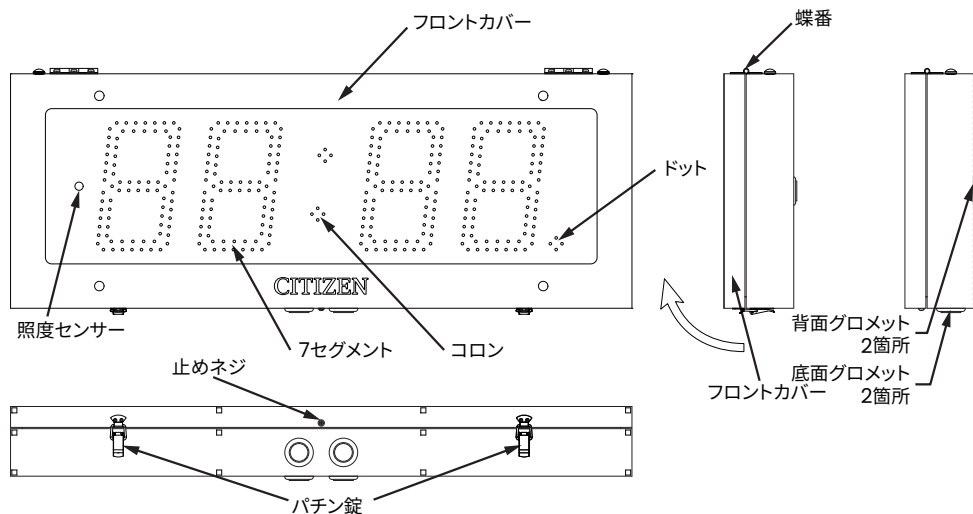
工事ケーブルの絶縁試験を行う時は、機器の端子に工事ケーブルを接続したままでは行わないで下さい。故障の原因となります。



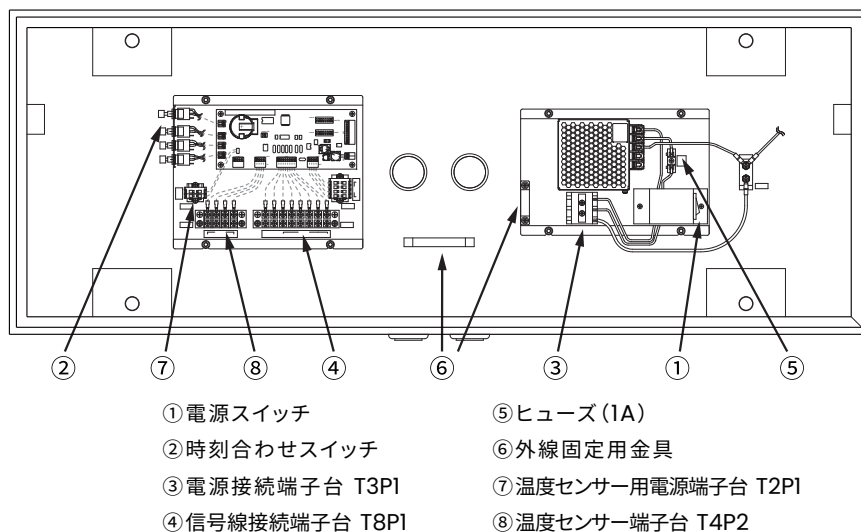
ベンジン、シンナー等の有機溶剤で機器を拭かないでください。変質したり、塗装が落ちる恐れがあります。

■各部の名称とはたらき

○各部の名称



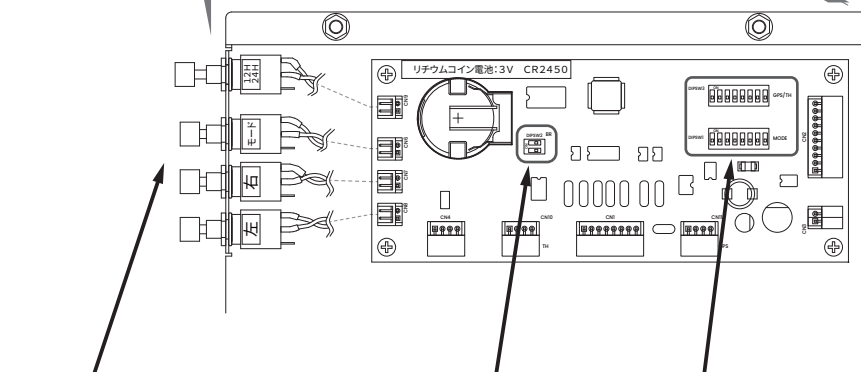
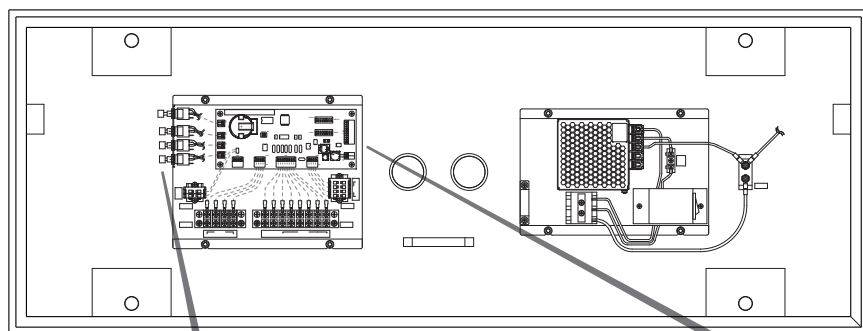
本体内部



■各スイッチの説明

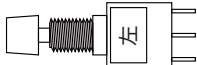
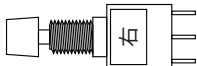
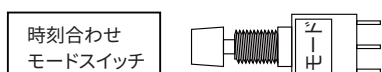
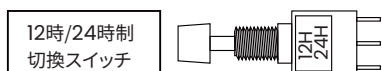
○ スwitchの位置と名称

本体内部



時刻合わせスイッチ

ディップスイッチ2:明るさ設定



ディップスイッチ3:GPS・温度表示設定



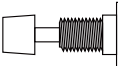
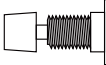
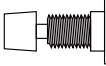
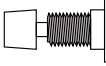
ディップスイッチ1:時計動作モード設定



■各スイッチの説明

○ 時刻合わせスイッチ

- ・ 12/24H 切換スイッチを押す度に 12 時間表示と 24 時間表示の切換ができます。
- ・ モードスイッチを押す度に修正モードを選択して、左右スイッチで時・分・秒などを設定します。

		モードスイッチ (SW1)	設定内容
12時/24時制 切換スイッチ		1 回目	「時・分」の設定で、左スイッチが時設定、右スイッチが分設定です。 12 時間表示の時には、午後の表示としてコロンを点灯します。
時刻合わせ モードスイッチ		2 回目	「年」の設定で西暦の下 2 桁で設定します。 年は、00 ～ 99 年をループします。(曜日表示モード「ディップスイッチ 7 が ON 時」は、0 ～ 6 でループします。)
		3 回目	「月・日」の設定で、左スイッチが月設定、右スイッチが日設定です。
		4 回目	秒カウンターと秒以下のカウンターをリセットしてスタートし、修正モードから抜け出します。

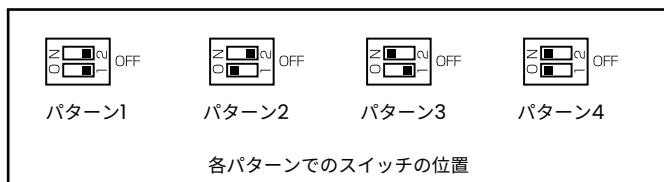
修正モードの時には、表示全体が点滅します。

○ 文字明るさ切換スイッチ

- ・ ディップスイッチ 2 (BR) で自動調光の設定と明るさ設定ができます。

パターン	設定状態	ON
2、4	番号 1 が ON、番号 2 は任意の時	照度センサーによる自動調光
1	番号 1、2 が OFF の時	最大の明るさ
3	番号 1 が OFF、番号 2 が ON の時	最大の約半分の明るさ

 出荷時の設定



■各スイッチの説明

○ 時刻動作モード設定スイッチ

- ・ディップスイッチ1（MODE）で動作モードを選択します。

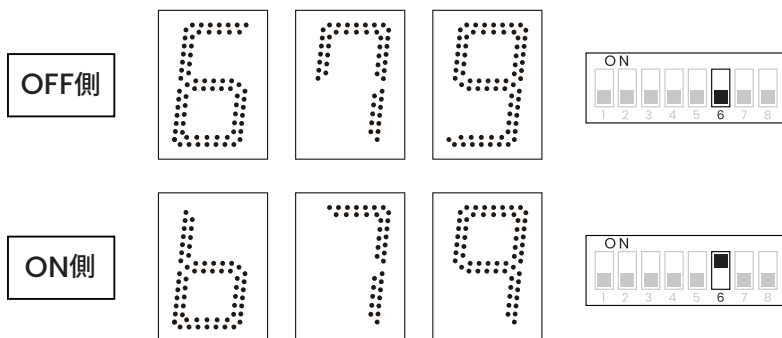
スイッチ番号	OFF	ON
1	未定義（OFF に設定）	
2	単独式モード	同期式モード
3	ドット点滅（コロン点灯）	コロン点滅（ドット消灯）
4	通常動作（時・分の表示）	分・秒の表示をします。 （同期式モードの桁上げ確認に使用します。）
5	同期式パルスモード	同期式シリアル信号モード
6	字型表示1	字型表示2
7	曜日非表示モード	曜日表示モード
8	通常動作（時・分の表示）	セグメント全灯 TEST モード



出荷時の設定

○ 字型の切換え

- ・ディップスイッチ1（MODE）のスイッチ番号6で「6」、「7」、「9」の字型を選択できます。




■各スイッチの説明

○ GPS・温度表示設定スイッチ

- ・ 外部接続のGPSアンテナ (TS-GOA シリーズ) から受信データを取得し時間が校正されます。
- ・ GPS受信機能有効と設定した場合、他モード（単独、同期）設定より最優先設定となります。

・ ディップスイッチ3（GPS／TH）で動作モードを選択します。

スイッチ番号	OFF	ON
1	時刻 - 温度表示間隔 (0)	設定詳細 下図
2	時刻 - 温度表示間隔 (1)	設定詳細 下図
3	時刻 - 温度表示間隔 (2)	設定詳細 下図
4	GPS受信機能 無効	GPS受信機能 有効
5	GPSステータス表示 OFF	GPSステータス表示 ON
6	未定義 (OFF に設定)	
7	未定義 (OFF に設定)	
8	温度センサー3線式	温度センサー4線式

 出荷時の設定



000 : 時刻表示のみ



111 : 温度表示のみ



100 : 2秒間隔



010 : 4秒間隔



110 : 6秒間隔



001 : 8秒間隔



101 : 10秒間隔

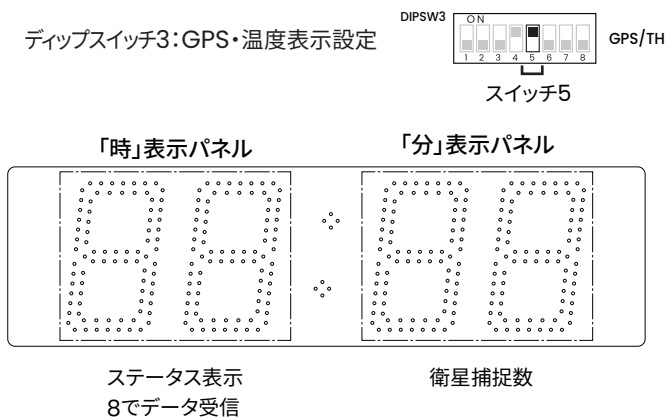


011 : 12秒間隔

■各スイッチの説明

○ GPSステータス表示

- ・ GPS 有効時（ディップスイッチ3のスイッチ番号4が ON のとき）にディップスイッチ 3 のスイッチ番号 5 を ON にすると GPS ステータスが表示されます。



ステータス	備 考
0	衛星受信していない、できてない
1	衛星受信開始
2	衛星1機以上捕捉
3	時刻取得済（アルマナックデータ受信）
8	受信完了

■ 設置について

○ 本体の設置



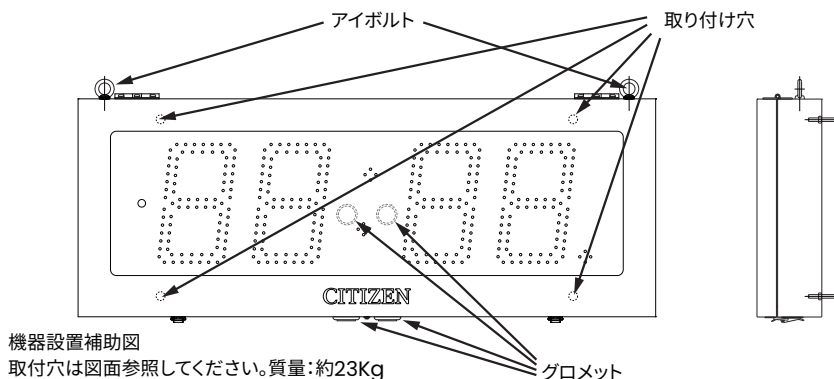
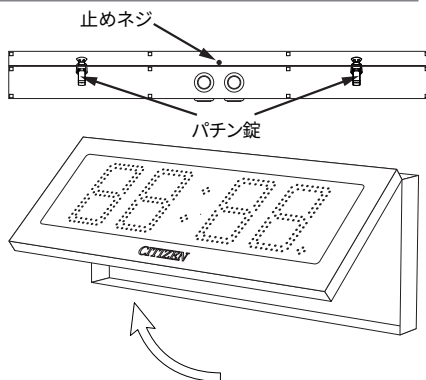
指示

以下に説明する作業はお客様が行わずに、工事業者もしくは弊社技術者が行ってください。

・デジタル時計を設置するにあたり、十分な強度がある構造物に機器設置補助図を参照して、明記された取付位置に時計をしっかりと固定してください。

・フロントカバー下部にある止めネジをドライバーで緩めた後、2カ所のパチン錠を外しフロントカバーを手前に開けます。およそ 90 度開くと、ヒンジがロック固定されます。閉じる際は、左右ヒンジの中央部を押してロックを解除しゆっくり降ろし閉じてください。フロントカバーは重いので開閉は手をはさまないようゆっくりおこなってください。閉じた後は、パチン錠、止めネジを確実に止めてください。

・取り付け穴にφ 12 のネジを使用し、4カ所で本体を固定してください。上部2カ所のフックで吊り上げ、安全に取り付け作業してください。吊り上げ用のアイボルトは設置後取り外し、付属のネジを取り付けてください。付属のネジは付属の防水ゴムパッキンを使用して取り付けてください。



■設置について

○GPSアンテナ(オプション品)の設置



注意

GPSアンテナの接続は電源を切った状態で行ってください。
電源投入後に行うと故障や誤動作の原因になります。

○GPSアンテナ設置場所の選定



注意

空の見通せない室内には設置しないでください。
受信できても電波が不安定だったり、周囲ノイズの影響を受けたり、誤動作の原因になります。

GPS ステータス表示で電波受信レベルが確認できます ((P. 14))。

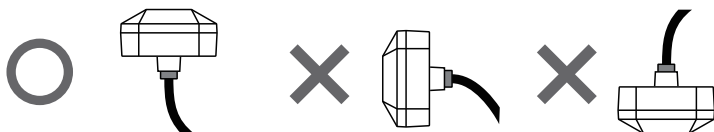
○受信に適さない場所

- ・屋外／室内を問わず、空が全く見通せない場所
- ・設置場所のすぐ近くに電波の反射物や遮蔽物がある場所
- ・網線の入った窓ガラス、スモークフィルムの貼った窓ガラス、金属製の雨戸、ブラインド窓の近く
- ・すぐ近くに電波の送信アンテナや避雷針のある場所
- ・すぐ近くに高圧線などのある場所
- ・雨天時に水没するおそれのある場所
- ・降雪によりアンテナが雪に埋没するおそれのある場所
- ・その他 GPS 衛星からの電波を遮蔽または妨害するおそれのある場所

■設置について

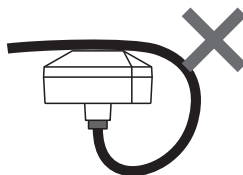
○GPSアンテナ(オプション品)の設置方向

GPSアンテナケースを天頂方向(ケーブルは下側)に向けて設置してください。
ケースを横向きや下向きに設置すると受信性能に影響が出ます。



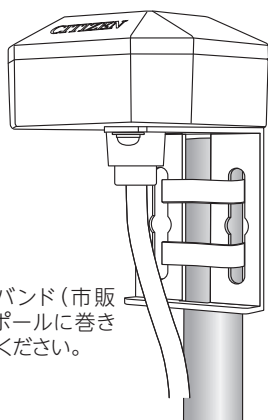
○GPSアンテナケーブル配線上の注意

ケーブル配線がGPSアンテナケースの上部にかからないようにしてください。受信性能に影響が出ます。



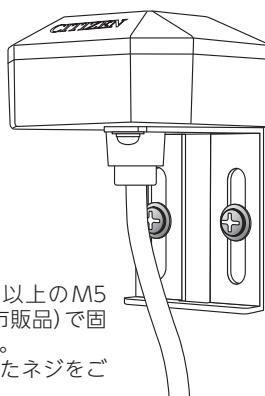
○GPSアンテナの固定方法

【ポールに巻きつける場合】



取付金具にバンド(市販品)を通してポールに巻きつけ固定してください。

【壁面に設置する場合】



取付金具を2個以上のM5 または M6 ネジ(市販品)で固定してください。
壁面材質に適したネジをご使用ください。

○GPSアンテナケーブルの延長

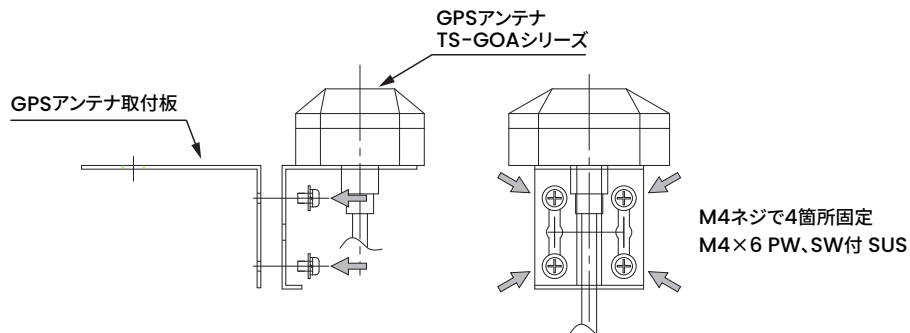
推奨ケーブル	S-MVVS 0.3mm ² -4C 黒(耐候性を考慮)
延長距離	600m まで

ケーブルを延長する場合、ビニールテープおよび自己融着テープなどを使用して接続部を適切な方法で防水処理してください。

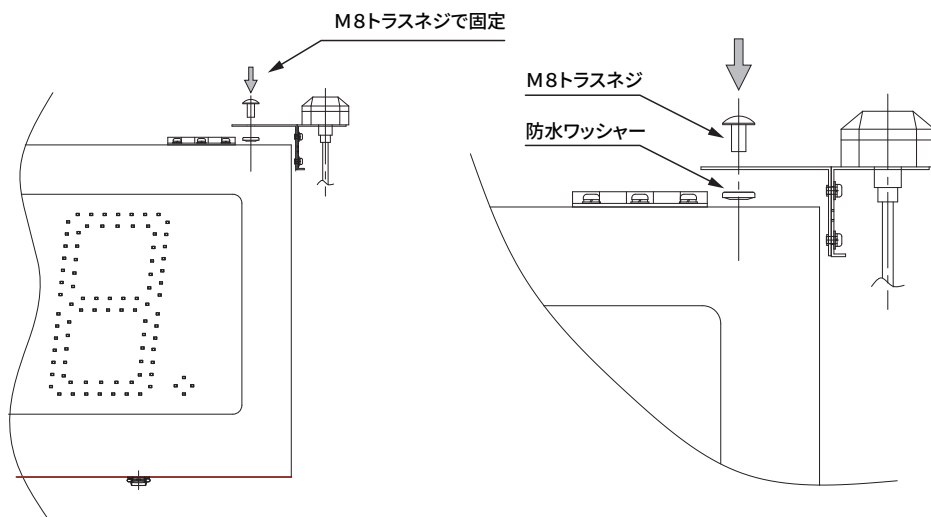
■ 設置について

○ GPS取付金具(オプション品)を使った本体への取り付け

GPSアンテナを時計本体に取り付ける場合、オプション品のアンテナ取付板を使用してください。



- 1) GPSアンテナとアンテナ取付板を4ヶ所ネジ止めします。
時計本体ケースに接触しない様、パッキン等で保護してください。

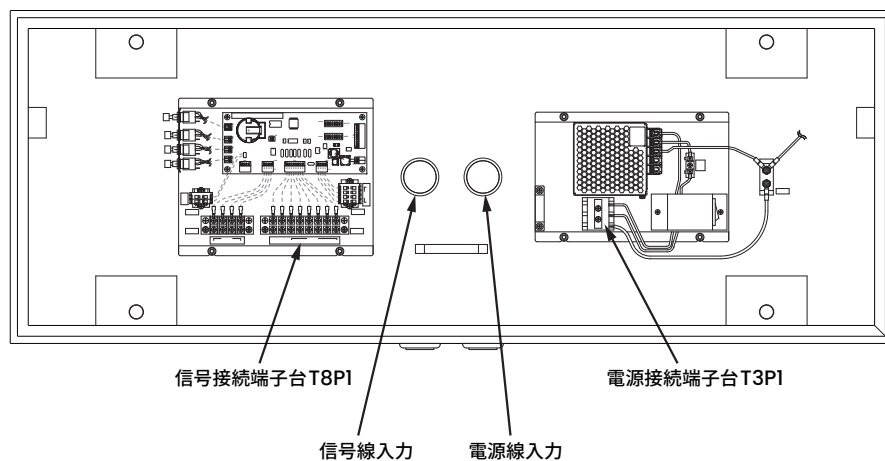


- 2) アイボルトの目隠ネジ (M8 トラスネジ) でケース本体とネジ固定します。
ネジ固定部はコーキング処理を行ってください。

■ 機器の結線

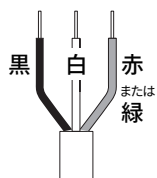
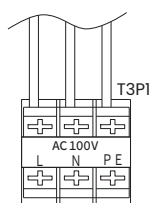
○ 電源・信号線の接続

フロントカバーを開けると、ケース本体に「電源接続端子台 T3P1」・「信号接続端子台 T8P1」があります。下図に従い結線をします。



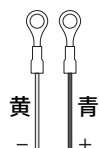
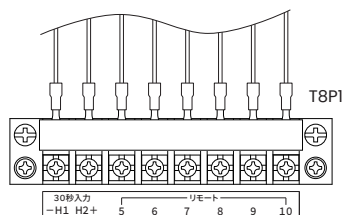
正面に配線用穴を設けグロメットを取り付けてあります。

電源・信号線の接続

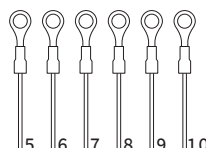
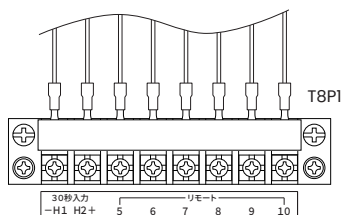


電源入力

親時計接続のとき



修正プレート接続のとき



LDW-1: リモート5～9端子使用

プレート番号	-H1	H2+	5	6	7	8	9	10
	親 時 計 -	親 時 計 +	COM	補 正	時 間	分	秒	点 灯 / 消 灯

■ 電源端子への取付方法

○ 電源端子

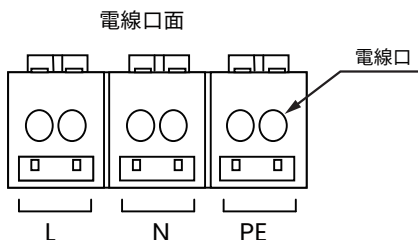
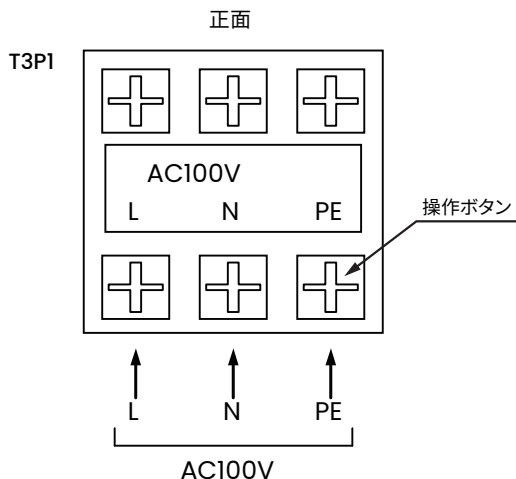


危険

機器の電源、信号等の結線工事は必ず電気工事士または弊社技術者が施工するようにしてください。

※ 電源及びアース線は単線Φ 0.8 ～ Φ 2.0mm、より線 0.5 ～ 4.0mm²、IV7 本より線 0.5 ～ 2.0mm² の軟銅線を使用して下さい。

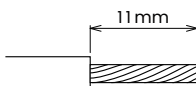
※ 電線被覆外径はΦ 4.1mm 以下とします。



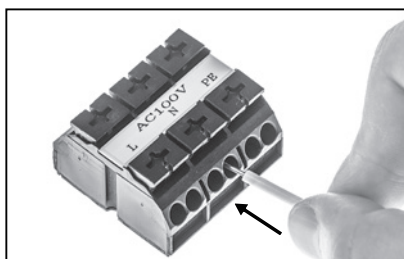
■ 電源端子への取付方法

- 適用電線
- | | | |
|---------|------------------------------------|---------------------------------------|
| 単線 | $\phi 0.8 \sim \phi 2.0 \text{mm}$ | } ※電線被覆外径は
$\phi 4.1 \text{mm}$ 以下 |
| より線 | $0.5 \sim 4 \text{mm}^2$ | |
| IV7本より線 | $0.5 \sim 2.0 \text{mm}^2$ | |

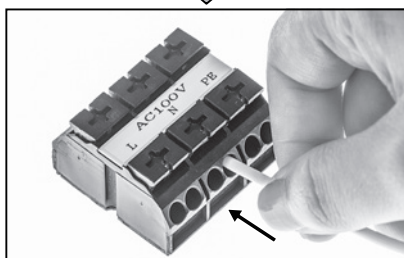
むきだし長さ・・・11mm



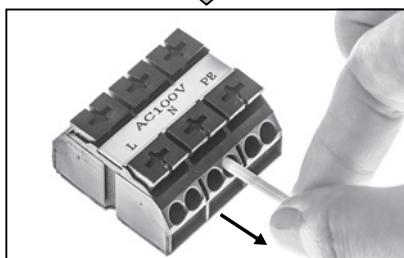
○ 単線の場合



正しくむき出した電線を電線口に差し込みます



電線が突き当たるまでしっかり差し込みます

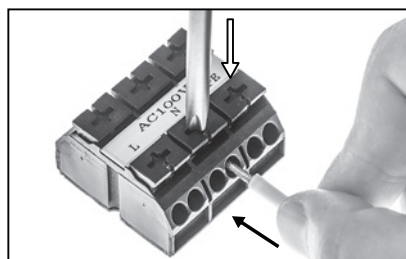
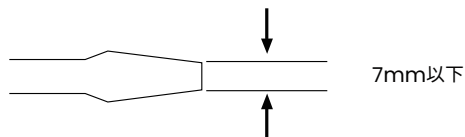


確認のため、電線を軽く引っ張って下さい(強く引っ張らないで下さい)

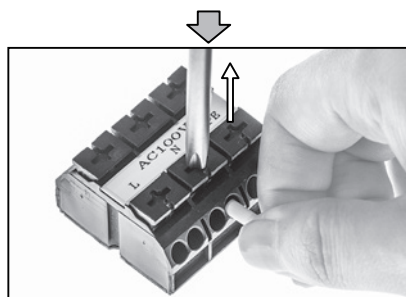
■ 電源端子への取付方法

○ より線の場合

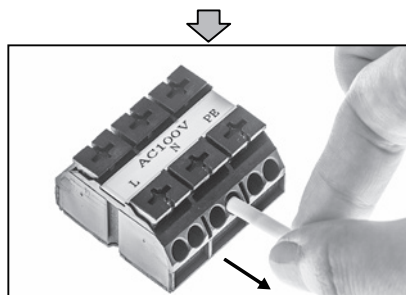
※操作ボタンを押し下げる際は刃先7mm以下のマイナスドライバー
またはプラスドライバーをご使用下さい



ドライバーで操作ボタンを押し下げ、正しくむき出した電線を電線口に差し込みます



電線を押えたまま、ドライバーを離せば結線されます。



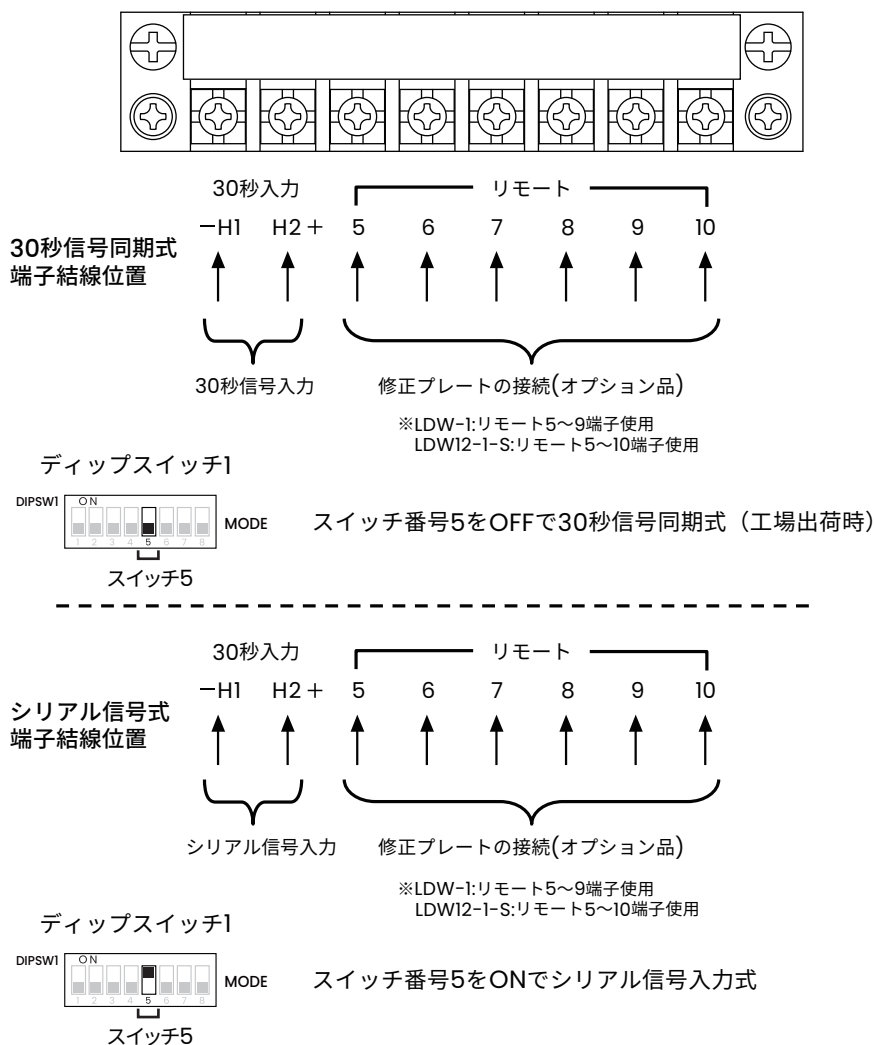
確認のため、電線を軽く引っ張って下さい（強く引っ張らないで下さい）

■ 機器の結線

○ 信号端子の接続

※信号線は単線 $\phi 0.65 \sim \phi 2.0\text{mm}$ 、より線 $0.5 \sim 2.0\text{mm}^2$ の軟銅線を使用して下さい。

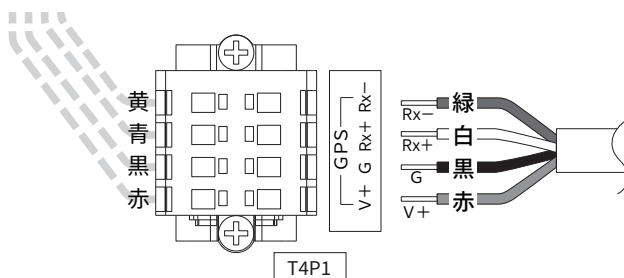
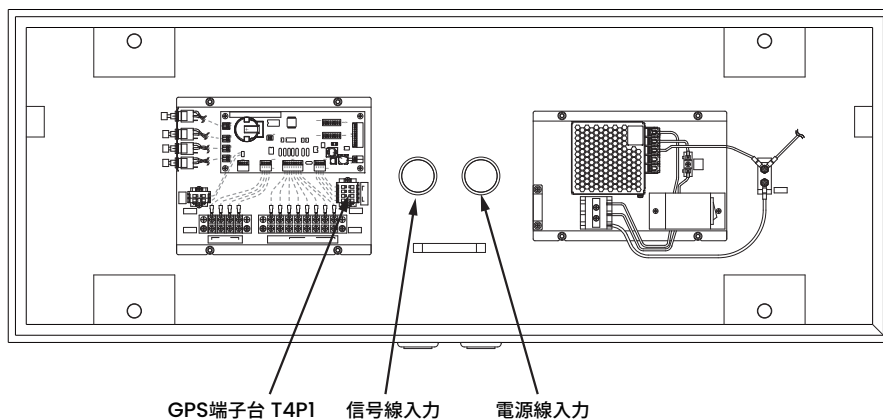
※端子ネジが M3.5 を使用しています。横幅が 7mm 以下の圧着端子に圧着して結線して下さい。



■ 機器の結線

○ GPSアンテナの接続

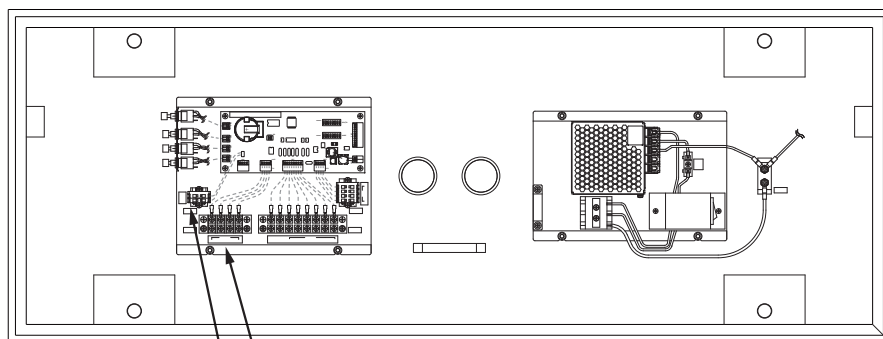
フロントカバーを開けると、ケース本体に「GPS アンテナ接続端子台 T4P1」があります。下図に従い結線をします。



■ 機器の結線

○ 温度センサーの接続

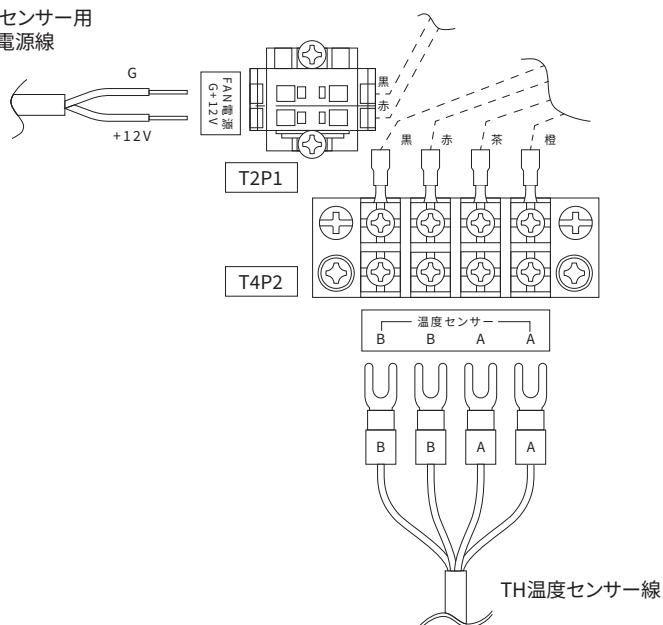
フロントカバーを開けると、ケース本体に「温度センサー接続端子台 T4P2」・
「温度センサー用電源接続端子台 T2P1」があります。下図に従い結線をします。



温度センサー端子台 T4P2

温度センサー用電源端子台 T2P1

TH温度センサー用
DCFAN電源線



■バックアップ電池

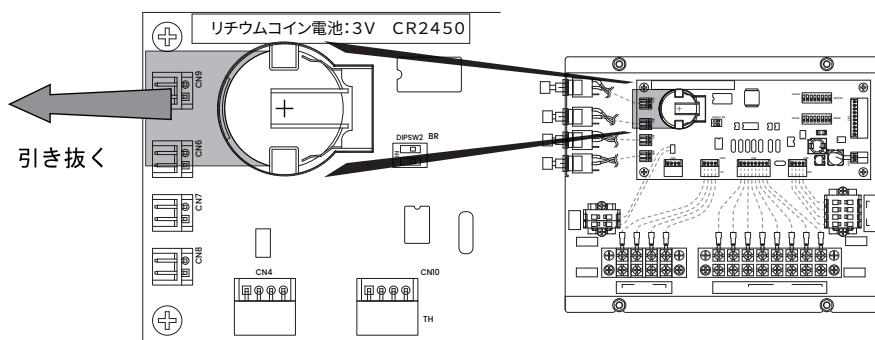
○ バックアップ電池



指示

- 以下に説明する作業はお客様が行わずに、工事業者もしくは弊社技術者が行って下さい。

初期動作時、バックアップ電池の絶縁フィルムを引き抜いてください。



○ バックアップ電池の交換

電池は使用状況によって寿命は変化します。7年程度を目安に、停電時動作時間が短くなった場合は、早めに同規格の新しい電池に交換してください。

[リチウムコイン電池：3V CR2450] 但し、シリアル信号式は交換不要です。交換の際は、本体内部の電源スイッチを「OFF」にしてください。

電池の取り外しはピンセットや、マイナス精密ドライバー等を使用して行ってください。電池の交換は、極性を確認して差し込んでください。

※ 無理に手で取り外そうとすると、電池ホルダーが破損する恐れがあります。

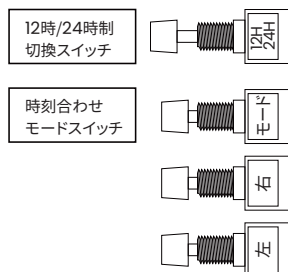
*機器の設置、電源線の接続、信号線の接続を確実にしてから電源スイッチを「ON」にしてください。

時刻合わせ

○ 本体での時刻合わせ

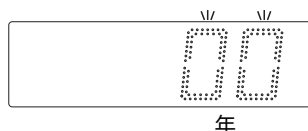
本体内部の時刻合わせスイッチの「モードスイッチ」「左スイッチ」「右スイッチ」を使用して時刻合わせをおこないます。

- ・ **時刻設定**：モードスイッチを 1 回押します。
「時・分」修正モードになり、時と分が点滅します。
修正中は時刻のカウントアップは停止されます。



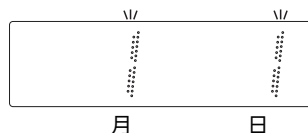
左スイッチを押すと「時」が加算され、最大値になったら次に最小値に戻ります。
右スイッチを押すと「分」が加算され、最大値になったら次に最小値に戻ります。

- ・ **年設定**：モードスイッチを 1 回押します。
「時・分」が確定され表示が切り換わり、
「年」修正モードになり「年」が点滅します。



右スイッチを押すと「年」が加算され、最大値になったら次に最小値に戻ります。
「年」の修正モードでは左スイッチは使用しません。

- ・ **月日設定**：モードスイッチを 1 回押します。
「年」が確定され表示が切り換わり、
「月・日」修正モードになります。「月」と「日」が点滅します。



左スイッチを押すと「月」が加算され、最大値になったら次に最小値に戻ります。
右スイッチを押すと「日」が加算され、最大値になったら次に最小値に戻ります。

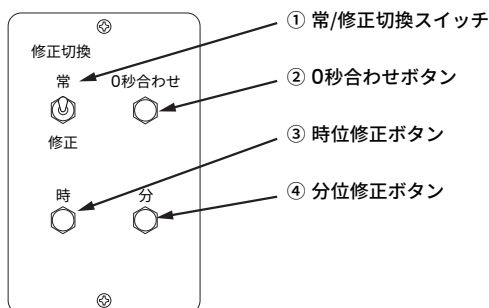
0 秒のタイミングでモードスイッチを 1 回押します。「月・日」が確定され、
表示が切り変わり、全ての修正が完了し、時刻表示画面になります。
修正中に停止していた時刻がカウントアップされます。

※ 同期式の場合は、修正が完了したら時刻の秒の値が 2 ～ 30 秒、32 ～ 0 秒の間に
モードスイッチを 1 回押します。

■時刻合わせ

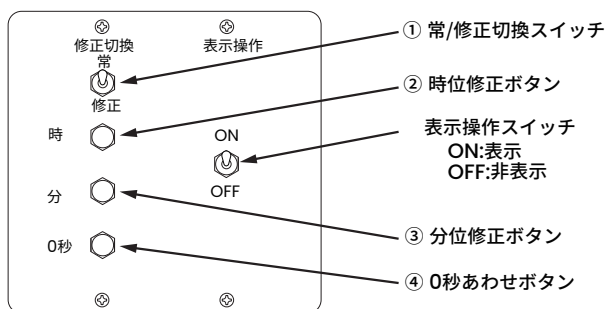
○ 時刻修正プレート(オプション品)を使った時刻合わせ

- ・ 時刻修正プレートでお使いの場合 (LDW-1)



- 1) 常 / 修正切換スイッチ①を「修正」にします。
- 2) 時位修正ボタン③を押すと「時」が加算され、最大値になったら次に最小値に戻ります。
- 3) 分位修正ボタン④を押すと「分」が加算され、最大値になったら次に最小値に戻ります。
- 4) 0 秒のタイミングで 0 秒合わせボタン②を押します。位が 00 秒となります。
(同期式では使用しません。)
- 5) 修正が完了したら、常 / 修正切換スイッチ①を「常」に戻します。

- ・ 時刻修正・表示操作プレートでお使いの場合 (LDW12-1-S)



- 1) 常 / 修正切換スイッチ①を「修正」にします。
- 2) 時位修正ボタン②を押すと「時」が加算され、最大値になったら次に最小値に戻ります。
- 3) 分位修正ボタン③を押すと「分」が加算され、最大値になったら次に最小値に戻ります。
- 4) 0 秒のタイミングで 0 秒合わせボタン④を押します。秒位が 00 秒となります。
(同期式では使用しません。)
- 5) 修正が完了したら、常 / 修正切換スイッチ①を「常」に戻します

※表示操作スイッチを ON にして操作を行ってください。(OFF の場合、表示パネルは表示されません。)

■時刻合わせ

○ 単独式でご使用の場合

- 1) 本体内部の電源スイッチが OFF 側であることを確認してください。
出荷時は OFF にしてあります。
- 2) 電源接続端子台 [T3P1] に、AC100V ケーブルを接続します。アースは本体の PE 端子に接続してください。
この AC ケーブルに AC100V が通電されていない事を確認してください。
(感電する恐れがあります。)
- 3) ディップスイッチ 1 の 2 番を、「OFF」にし、単独式にします。
出荷時は「ON」側（同期式）になっています。
- 4) ディップスイッチ 1 時刻動作モード設定スイッチ (P. 12) で
各種設定を行ってください。
- 5) 必要に応じてディップスイッチ 3(1 ～ 3 番) で温度表示を設定することができます。
GPS・温度表示設定スイッチ (P. 13) で各種設定を行ってください。
温度表示を行うには外部温度センサー (オプション品) の接続が必要です。
- 6) 必要に応じて外部修正プレート (オプション品) のケーブルを接続します。
- 7) 時計表示基板上のバックアップ電池の絶縁フィルムを抜きます。
- 8) AC100V を通電します。
電源接続端子台 [T3P1] の L-N 間が、AC100V 規格内であることをテスターで確認してください。
- 9) 電源スイッチを「ON」側に倒して、電源を投入します。
- 10) 時刻を確認・設定し、ヒンジ2カ所中央部を同時に引きながらフロントカバーを閉めます。
パチン錠2カ所を止めた後、止めねじを締め付けます。

■時刻合わせ

○ 親時計同期式でご使用の場合

- 1) 本体内部の電源スイッチが OFF 側であることを確認してください。
出荷時は OFF にしてあります。
- 2) 電源接続端子台 [T3P1] に、AC100V ケーブルを接続します。アースは本体の PE 端子に接続してください。
この AC ケーブルに AC100V が通電されていない事を確認してください。
(感電する恐れがあります。)
- 3) 信号接続端子台 [T8P1] に、親時計からのケーブルを接続します。(P. 23)
- 4) ディップスイッチ 1 時刻動作モード設定スイッチ (P. 12) で
各種設定を行ってください。
- 5) 必要に応じてディップスイッチ 3(1 ～ 3 番) で温度表示を設定することができます。
GPS ・ 温度表示設定スイッチ (P. 13) で各種設定を行ってください。
温度表示を行うには外部温度センサー (オプション品) の接続が必要です。
- 6) 必要に応じて外部修正プレート (オプション品) のケーブルを接続します。
- 7) 時計表示基板上のバックアップ電池の絶縁フィルムを抜きます。
- 8) AC100V を通電します。
電源接続端子台 [T3P1] の L-N 間が、AC100V 規格内であることをテスターで確認してください。
- 9) 電源スイッチを「ON」側に倒して、電源を投入します。
- 10) 時刻を確認・設定し、ヒンジ2カ所中央部を同時に引きながらフロントカバーを閉めます。
パチン錠2カ所を止めた後、止めねじを締め付けます。

■時刻合わせ

○ GPS補正式でご使用の場合

- 1) 本体内部の電源スイッチが OFF 側であることを確認してください。
出荷時は OFF にしてあります。
- 2) 電源接続端子台 [T3P1] に、AC100V ケーブルを接続します。アースは本体の PE 端子に接続してください。
- 3) GPS アンテナ接続端子台 [T4P1] に、外部 GPS アンテナ (TS-GOA シリーズ: オプション品) のケーブルを接続します。(P. 24)
- 4) ディップスイッチ 1 時刻動作モード設定スイッチ (P. 12) で各種設定を行ってください。
- 5) ディップスイッチ 3 GPS・温度表示設定スイッチ (P. 13) の 4 番を「ON」にし、GPS補正式にします。
出荷時は「OFF」側 (GPS受信無効) になっています。
- 6) GPSのステータス状況を表示するにはディップスイッチ 3 の 5 番を、「ON」にし、ステータス表示有効 にします。GPS受信有効時にステータス表示は有効となります。
- 7) 必要に応じてディップスイッチ 3(1 ～ 3 番) で温度表示を設定することができます。GPS・温度表示設定スイッチ (P. 13) で各種設定を行ってください。
温度表示を行うには外部温度センサー (オプション品) の接続が必要です。
- 8) 必要に応じて外部修正プレート (オプション品) のケーブルを接続します。
- 9) 時計表示基板上的のバックアップ電池の絶縁フィルムを抜きます。
- 10) AC100V を通電します。
電源接続端子台 [T3P1] の L-N 間が、AC100V 規格内であることをテスターで確認してください。
- 11) 電源スイッチを「ON」側に倒して、電源を投入します。
- 12) 時刻を確認・設定し、ヒンジ2カ所中央部を同時に引きながらフロントカバーを閉めます。
パチン錠2カ所を止めた後、止めねじを締め付けます。

■製品仕様

○本体

外形寸法	980(W) × 370(H) × 110(D)mm (突起部含まず)
質 量	約 23kg
最大消費電力	20 W
ケース材質	SECC-P
文字高	200mm
表示素子	白色LED
入力電源	AC100V ± 10%(50/60Hz)
同期式時の入力信号	DC24V 30 秒有極信号 12mA またはシリアル信号同期式動作対応
GPS 式時の入力信号	D +、D - RS-485 レベル
使用温度範囲	-10°C ~ 50°C
使用湿度範囲	20 ~ 85% (結露なきこと)
保護等級	IPX3 相当
時 制	12/24 時制 内部 SW 切換
停電補償時間	約 7 年間 (リチウムコイン電池: 3V CR2450 による) 但し、表示は消灯 メモリのみ

○GPSアンテナ(オプション品)

ケース	AES 樹脂製 ライトグレー色
受信電波	GPS 衛星電波 / 準天頂衛星電波 L1 帯
受信周波数	1575.42MHz
受信感度	-145dBm (コールドスタート時)
使用温度範囲	-20°C ~ 60°C
保護等級	IP65 相当
取付金具	ステンレス製
質 量	380g (ケーブル 5m 含む)

○有害物質規制

鉛・水銀・カドミウム・6価クロム・PBB(ポリ臭化ビフェニル類)・PBDE(ポリ臭化ジフェニルエーテル類)・DEHP(フタル酸ビス(2-エチルヘキシル))・BBP(フタル酸ブチルベンジル)・DBP(フタル酸ジブチル)・DIBP(フタル酸ジイソブチル)の10物質は、RoHS指令の閾値を超える意図した使用・添加はありません。

■お問い合わせ

ご不明な点がございましたら下記にお問い合わせください。

製造販売元 シチズン TIC 株式会社

○ 東京支店

〒184-0013 東京都小金井市前原町5丁目6番12号
TEL.042-386-2293 (代) FAX.042-386-2222

・ 札幌営業所

〒005-0005 札幌市南区澄川5条11丁目2番15号
TEL.011-374-5464 (代) FAX.011-374-5465

・ 仙台営業所

〒980-0012 仙台市青葉区錦町1丁目1番46号
TEL.022-796-5347 (代) FAX.022-796-5348

○ 名古屋支店

〒462-0865 名古屋市北区下飯田町4丁目26番2号
TEL.052-991-8600 (代) FAX.052-991-8603

○ 大阪支店

〒536-0023 大阪市城東区東中浜8丁目3番20号
TEL.06-6961-8663 (代) FAX.06-6961-8680

・ 広島営業所

〒732-0009 広島市東区戸坂千足2丁目4番1号
TEL.082-229-2501 (代) FAX.082-229-2502

○ 福岡支店

〒812-0026 福岡市博多区堅粕4丁目1番12号
TEL.092-281-0020 (代) FAX.092-281-0112

時刻を極める シチズンTIC株式会社

Optimize the time with CITIZEN T.I.C.

■ 東京支店	〒184-0013	東京都小金井市前原町5丁目6番12号	TEL.042-386-2293(代)
■ 札幌営業所	〒005-0005	札幌市南区澄川5条11丁目2番15号	TEL.011-374-5464(代)
■ 仙台営業所	〒980-0012	仙台市青葉区錦町1丁目1番46号	TEL.022-796-5347(代)
■ 名古屋支店	〒462-0865	名古屋市北区下飯田町4丁目26番2号	TEL.052-991-8600(代)
■ 大阪支店	〒536-0023	大阪市城東区東中浜8丁目3番20号	TEL.06-6961-8663(代)
■ 福岡支店	〒812-0043	福岡市博多区堅粕4丁目1番12号	TEL.092-281-0020(代)
■ 広島営業所	〒732-0009	広島県広島市東区戸坂千足2丁目4番1号	TEL.082-229-2501(代)

ホームページアドレス <https://tic.citizen.co.jp/>
